

## 白根小学校

越後南区大凧のまち 白根。300年の伝統を誇る「白根大凧合戦」の歴史や凧にかかわる人々の思い、凧合戦のおもしろさや素晴らしさを伝えます！

### しろね大凧と歴史の館

白根の凧の歴史について学ぶことができます。



「和紙1枚と数本の竹で、空高く揚がる凧ができるとはびっくり！」

「24畳の大凧を間近で見ると、こんなに大きく迫力があるとは思わなかったな。」

「日本各地や世界の凧がたくさん展示してあるね。いろいろな形、絵柄があっておもしろいね！」



### 白根大凧合戦

6月上旬5日間開催

凧合戦期間中、土手でいろいろな人たちにインタビューしました。



「凧が揚がって絡まるところがおもしろいね。」



「凧が大きいから、揚げる時も運ぶ時も大勢で力を合わせらんだね。」

「白根の大凧合戦は、『新潟県無形民俗文化財』に指定されたんだって！これって、すごいことだよな。」

### 白根大凧太鼓

地域の和太鼓チーム「勇南」のみなさんから和太鼓を教わり音楽を発表しました。



「運動会でも踊った『越後南区大凧のまち』を演奏したよ！教えてもらった和太鼓を入れたから、とても迫力のある演奏になったよね。」

### リーフレット作り

学習したことをリーフレットにまとめることにしました。

「凧合戦を知らない人たちに配ったら見に来てくれて、もっと凧合戦が盛り上がるのではないかな。」

「じゃあ、凧合戦の魅力を伝えないとね。」

### 見附市立今町小との凧の交流会

同じように凧について学習している今町小学校を訪問して情報交換をしました。

「大凧合戦の前日は、『子ども凧合戦』です。子ども凧の大きさは6畳です。」

「東軍と西軍に分かれて凧を揚げます。大凧のチームは全部で13組。巻凧のチームは40組以上あります。」



「この六角形の凧は、『巻凧』といいます。大凧合戦は、24畳の『大凧』と、この『巻凧』が揚がります。」

「凧名人の遠藤さんから教わって、私たち4年生は、学校ごとに巻凧を作って揚げました。」

「巻凧は、縦の骨を外すと巻いて持ち運ぶことができます。それで、『巻凧』という名前なのです。」

「北側からの風（川の下流方向からの風）を受けて凧は揚がります。東軍が先に上空で待ち、西軍がその上からかぶせます。かかったまま中ノ口川に凧を落として、引き合い所で土手と垂直方向に引き合い、相手の糸を切った方が勝ちです。」

「凧の主な材料は、和紙、竹です。和紙を貼り合わせ、下絵を描いてから墨入れをして、色を塗ります。各組決まった絵柄を描きます。」

「『見附今町・長岡中之島大凧合戦』の紹介をします！6月第1土曜日から3日間、刈谷田川の堤防で今町と中之島が対戦します。大凧合戦に使われる凧は、和紙百枚貼りの六角大凧です。」

「ぼく達今町小は、4年の3学期に自分たちで凧を作って、5年生になったら凧を揚げるよ。」



「白根の凧と材料は同じみたいだね。」

「紙の手触りは少し違うかな。」

### 子どもの声



凧名人 遠藤さんの話

次の代を担う今の小学生が凧に興味をもってきているのは嬉しいですね。白根の大凧合戦は地域をつなぐ大切な伝統行事。これからもずっとみんなでつないでいきます。



お父さんと凧の歴史や凧の作り方についてよく話をします。でも、遠藤さんの方が詳しいです。大好きな凧についてもっと勉強して、遠藤さんみたいな凧博士になりたいです。



私達は、見附今町小学校と交流会をしました。見附の凧の歴史や、白根の凧との素材の違いを知ることができました。見附も白根も、凧合戦を続けていけるとよいと思います。